

***D**esign the Future*

**2012年3月期
上半期決算説明会**


株式会社ダイセル

2011年11月 8日



目 次

2012年3月期 上半期実績	P3～P14
業績概要	P3
連結損益計算書	P4
売上高・営業利益分析	P5
セグメント情報	P6～P14
2012年3月期 見通し	P15～P27
業績見通し	P15～P16
売上高・営業利益の推移と見通し	P17
セグメント別 売上高・営業利益(前年対比)	P18
セグメント情報	P19～22
設備投資額推移	P23
TOPICS	P24～P26
減価償却費推移	P27
連結貸借対照表	P28
総資産・有利子負債推移	P29
予測に関する注意事項	P30

業績概要

単位: 億円

	前上半期	当上半期	増減	増減率
売上高	1,809	1,682	△127	△7.0%
営業利益	209	115	△94	△44.9%
経常利益	198	117	△81	△40.8%
当期純利益	77	58	△20	△25.6%

為替レート	91円/\$	81円/\$
-------	--------	--------

連結損益計算書

単位：億円

	前上半期	当上半期	増減	備 考
売上高	1,809	1,682	△ 127	数量差△82、単価差△45(内、為替影響△85)
売上総利益	461	364	△ 97	
販売費及び 一般管理費	252	249	△ 3	
営業利益	209	115	△ 94	数量差△37、単価差△58(内、為替影響△23)
営業外損益	△ 11	2	+13	
経常利益	198	117	△ 81	
特別損益	△ 11	△ 9	+2	
税金等調整前 中間純利益	187	108	△ 79	
法人税等、 少数株主利益	109	50	△ 59	
当期純利益	77	58	△ 20	

為替 91円/\$ 81円/\$

売上高・営業利益分析

【売上高】

単位: 億円

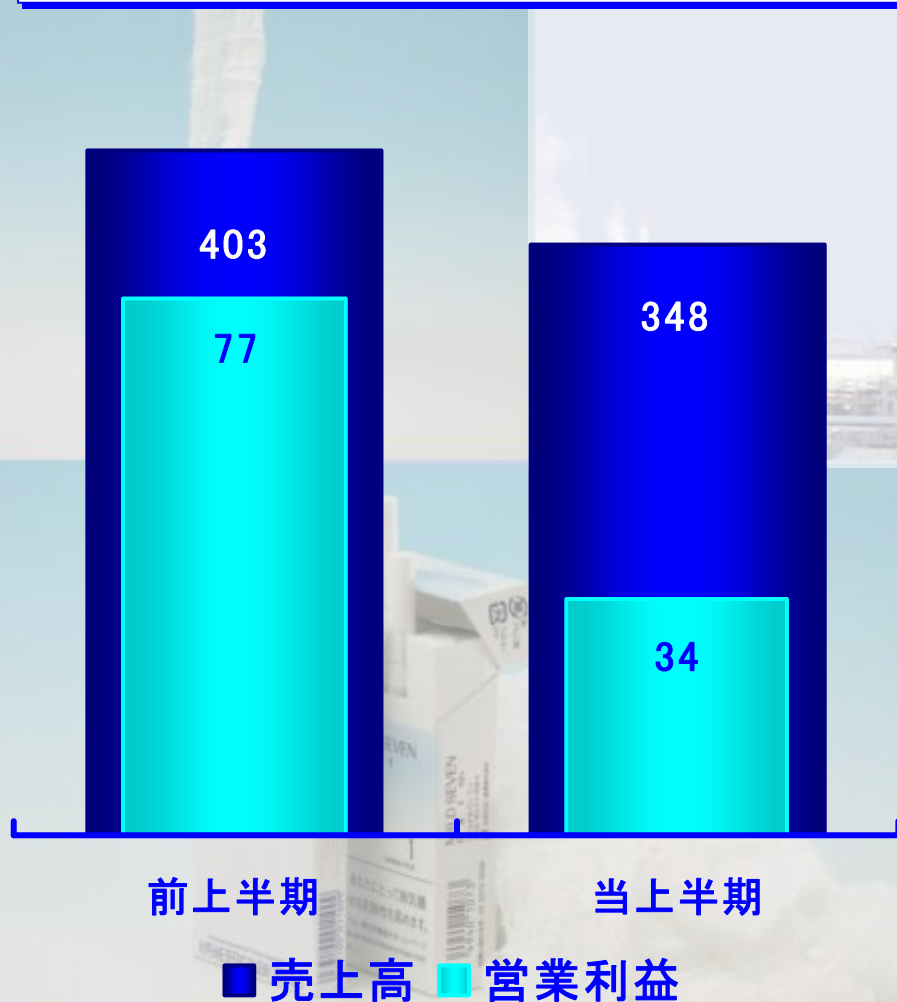
	前上半期	当上半期	増減	分 析	
				数量差	単価差
セルロース	403	348	△55	△16	△39
有機合成	409	401	△8	△26	+18
合成樹脂	692	667	△26	△20	△6
火工品	272	236	△37	△19	△18
その他	31	30	△1	△1	-
合 計	1,809	1,682	△127	△82	△45

【営業利益】

単位: 億円

	前上半期	当上半期	増減	分 析		
				数量影響	価格影響	その他
セルロース	77	34	△43	△7	△26	△11
有機合成	40	35	△5	△6	△5	+6
合成樹脂	87	66	△21	△6	△19	+4
火工品	34	17	△17	△15	△8	+6
その他	7	5	△3	△3	-	-
全 社	△37	△42	△5	-	-	△5
合 計	209	115	△94	△37	△58	+1

セルロース事業セグメント



★ 売上高 △54.9億円
 (為替影響 △22億円)

酢酸セルロース(液晶フィルム向けTAC):
 液晶パネル在庫調整の影響で減
 アセテート・トウ:
 海外向け好調も
 昨年10月のたばこ増税や
 3月の震災による
 JTたばこ生産の大幅な落ち込み
 円高の影響で減

★ 営業利益 △43.2億円

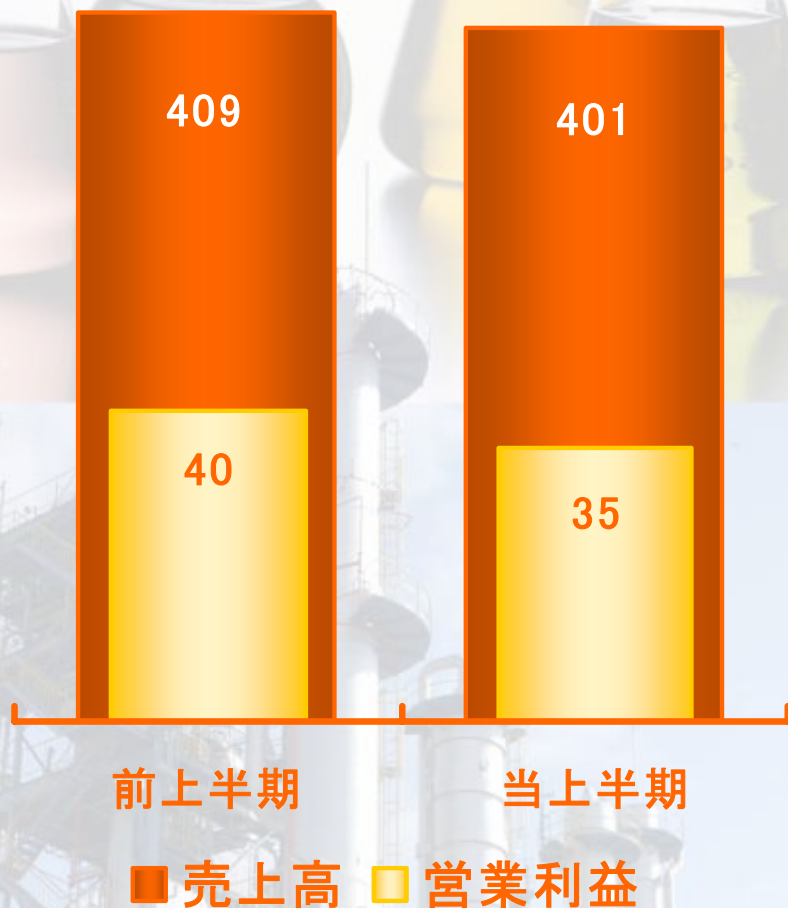
たばこフィルター用アセテート・トウ事業の強化

- ◆ 三菱レイヨンと合併会社設立で基本合意
- ◆ 大竹工場増設（設備投資額：約40億円）
- ◆ 網干工場生産能力増強
 - ※ 大竹・網干あわせて約10%能力増
 - ※ 2013年7月稼動開始予定
- ◆ 中国合併会社の増強検討

世界のアセテート・トウ需要の拡大を背景に、
国際的に競争力の高い生産体制の構築を目指す

世界のたばこ需要は、アジア、アフリカ、東欧などの新興国を中心に伸長

有機合成事業セグメント



★ 売上高 Δ 8.5億円
 (為替影響 Δ 15億円)

酢酸: PTA向け中心に需要堅調だが、
 網干工場定期修理(2年に1回)
 の影響で減

汎用品: 酢酸エチル販売順調で増

機能品: 電子材料市場の在庫調整、
 円高の影響で微減

CPI: 中国・インド中心に
 海外向けカラム販売好調で増

★ 営業利益 Δ 5億円

酢酸エチル生産能力増強

エタノールチェーンの強化拡大

大竹工場の酢酸エチルの生産能力を5割増強

- 2009年 7月 エタノール法での酢酸エチル製造を開始（年産5万トン）
- 2011年11月 酢酸エチル能力増強（年産7.5万トンへ）
- 12月 稼働予定

電材用途の粘接着剤向けやグラビア印刷用インキ向けで、
需要の拡大が見込まれる

CPI事業：中国上海の現地法人の移転・拡張

上海と北京の2拠点体制で
中国におけるキラルケミカル事業のさらなる拡大を図る



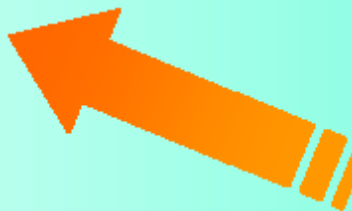
● DCTC北京分室
本年1月設置
春開業

新施設へ移転・拡張を決定
(2012年秋 予定)

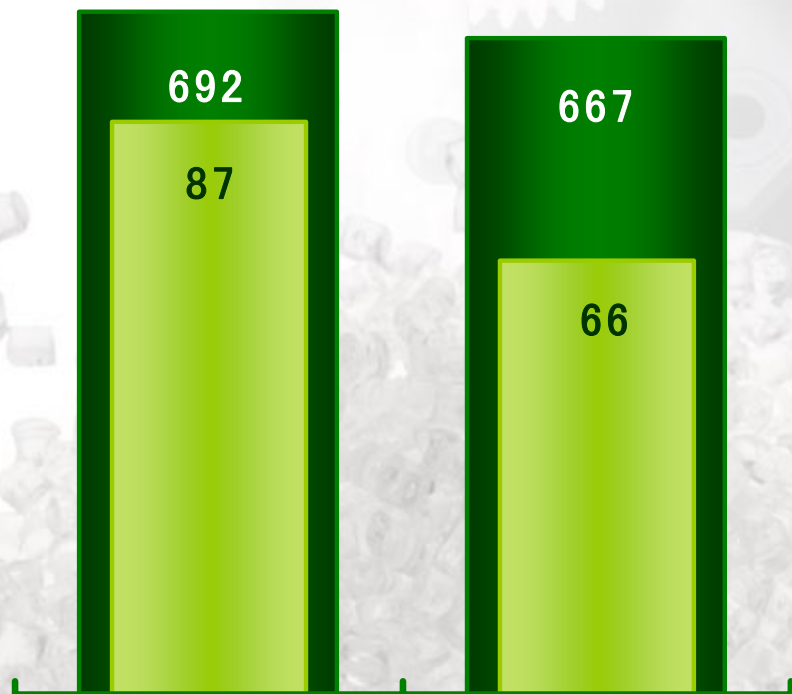


完成予想図

ダイセル薬物手性技術(上海)有限公司
(DCTC)



合成樹脂事業セグメント



前上半期

当上半期

■ 売上高 ■ 営業利益

★ 売上高 △25.6億円
 (為替影響 △34億円)

ポリプラスチック: △30億円
 3月の震災の影響で減
 電材市場の調整によるLCP需要減
 ダイセルポリマーGr.: +4億円
 自動車向けが
 震災の影響で減少したが、
 復興需要等で増

★ 営業利益 △20.6億円

Polyplastics

韓国に輸入販売会社設立

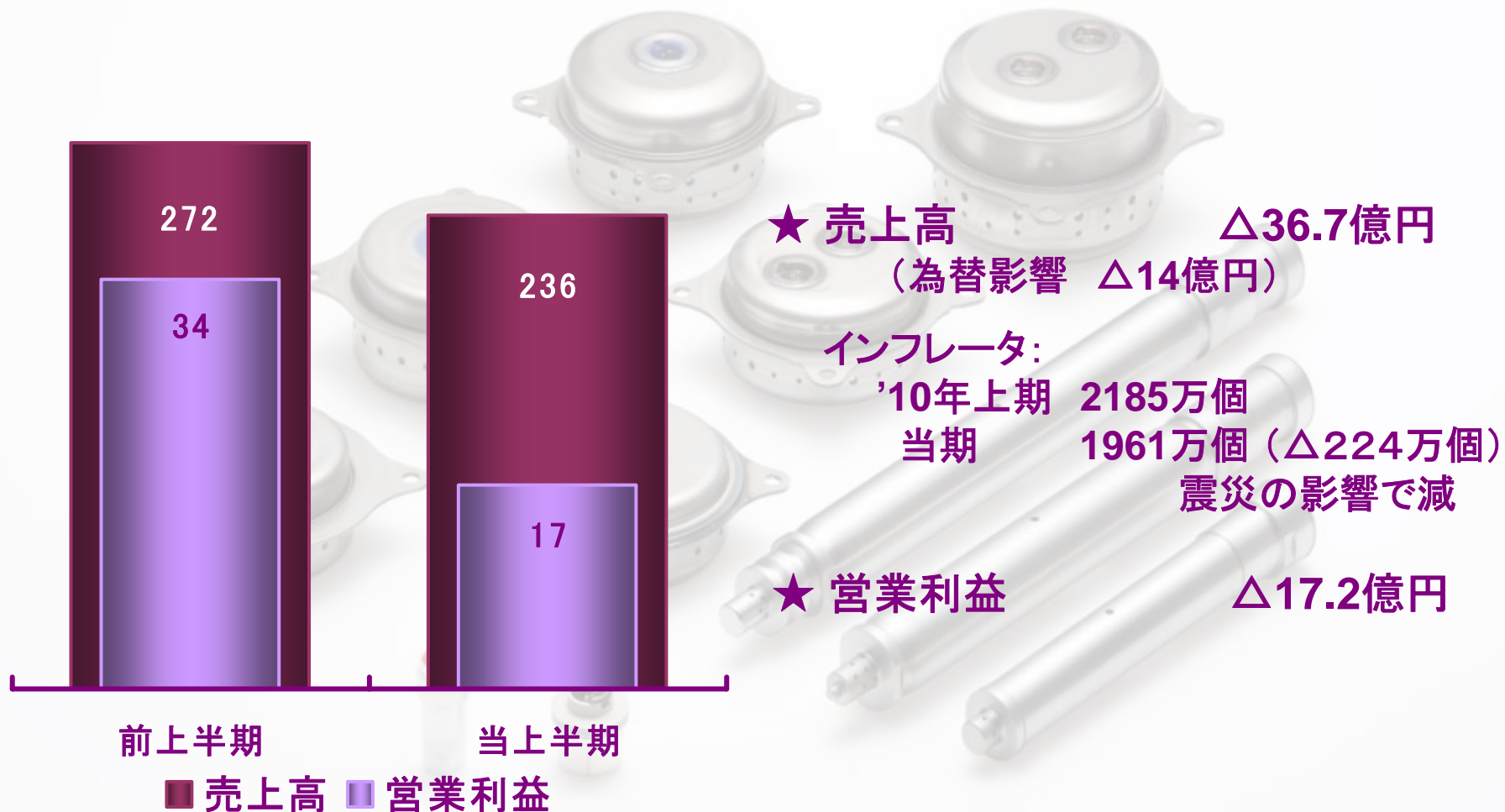
POLYPLASTICS KOREA, LTD 設立

所在地：ソウル市

営業開始日：2011年12月1日

中国やASEANに進出する
自動車やエレクトロニクスなどの韓国系メーカーの
開拓と顧客へのサポート体制強化

火工品事業セグメント



タイ洪水被害の当社グループへの影響

DSST※¹：直接の被害はないが、サプライチェーンに影響が出ている
ポリプラスチックス：サプライチェーンへの影響が懸念される

PMT※²（本社）バンコク （研究所：TSC※³）パトゥムターニー県



★(※¹) DSST: Daicel Safety Systems (Thailand) Co., Ltd.

★(※²) PMT: Polyplastics Marketing (T) Ltd.

●(※³) TSC: テクニカルソリューションセンター

2012年3月期業績見通し

前提条件

			前上半期 実績	前下半期 実績	当上半期 実績	当下半期 計画
為替レート			91円/\$	84円/\$	81円/\$	77円/\$
原料	メタノール	欧米 コントラクト価格	\$335	\$414	\$430	\$470
		アジア スポット価格	\$258	\$351	\$367	\$400
	原油(ドバイ)		\$76	\$92	\$109	\$110
	国産ナフサ		46,000円	48,600円	57,000円	52,000円

2012年3月期業績見通し

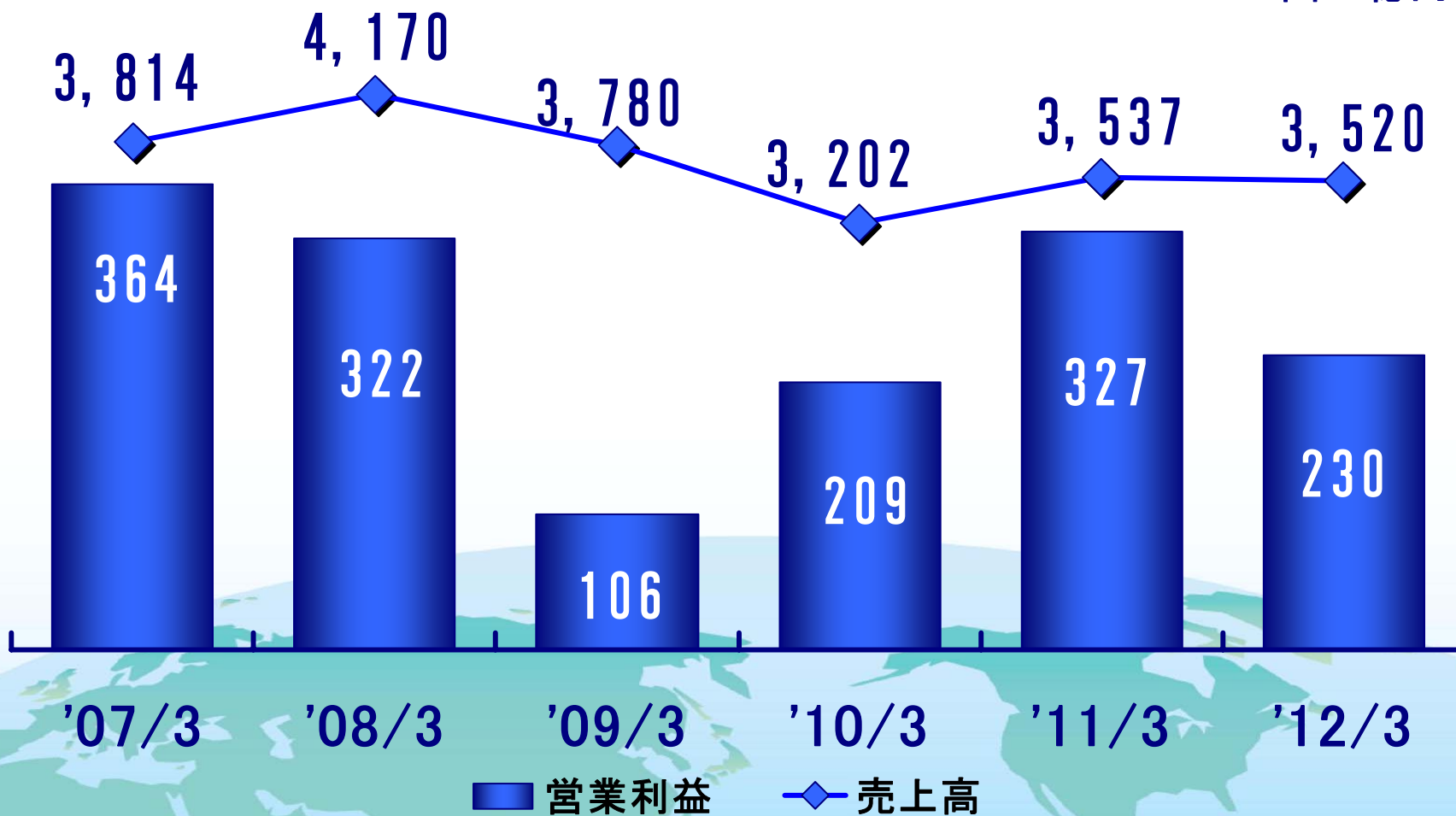
単位: 億円

	前期実績	当期見通し	増減	増減率
売上高	3,537	3,520	△17	△0.5%
営業利益	327	230	△97	△29.7%
経常利益	316	230	△86	△27.1%
当期純利益	168	135	△33	△19.7%

為替レート	87円/\$	79円/\$
-------	--------	--------

売上高・営業利益の推移と見通し

単位: 億円



セグメント別 売上高・営業利益(前年対比)

【売上高】

単位:億円

	2011年3月期 実績	2012年3月期 見通し	増減
セルロース	766	710	△56
有機合成	809	825	+16
合成樹脂	1,370	1,370	+0
火工品	529	545	+16
その他	64	70	+6
合計	3,537	3,520	△17

【営業利益】

単位:億円

	2011年3月期 実績	2012年3月期 見通し	増減
セルロース	121	65	△56
有機合成	69	75	+6
合成樹脂	146	100	△46
火工品	59	65	+6
その他	13	10	△3
全社	△80	△85	△5
合計	327	230	△97

セルロース事業セグメント

通期 見通し : 減収減益

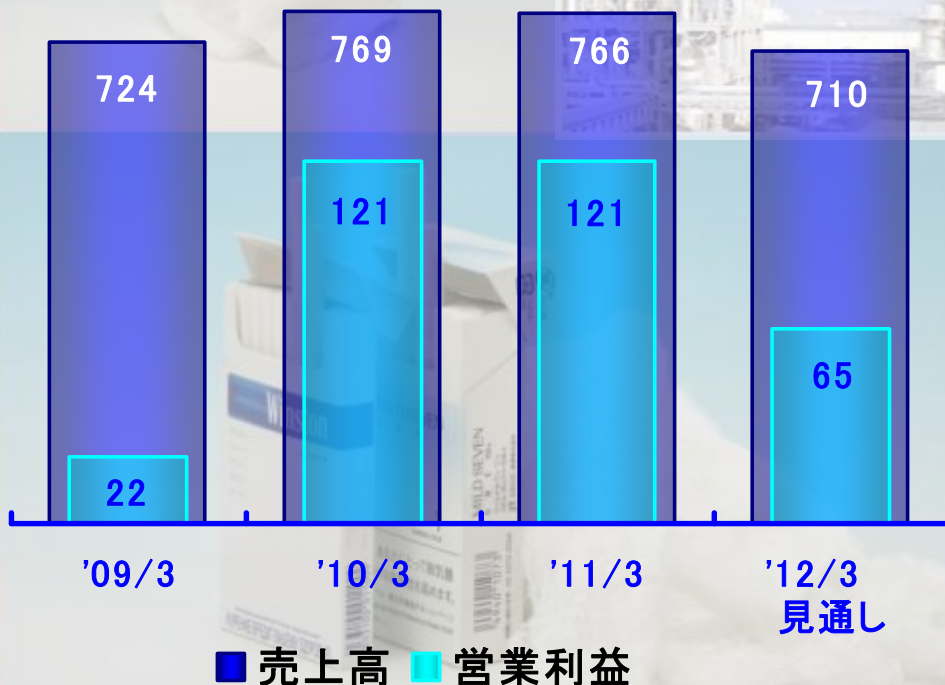
酢酸セルロース
TAC販売数量微減
原燃料価格高騰



アセテート・トウ
販売数量は堅調に推移
円高で減収



(単位:億円)



有機合成事業セグメント

(単位:億円)



通期 見通し : 増収増益

下期は、緩やかな回復傾向と予想

円高、原燃料高を
数量増と販売価格是正でカバー



合成樹脂事業セグメント

(単位:億円)



通期 見通し : 減益



ポリプラスチック:

- ・電材市場の調整によるLCP需要減
- ・円高の進行
- ・原燃料価格高騰

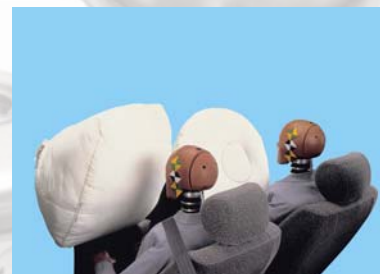
ダイセルポリマーGr.:

原燃料価格高騰

火工品事業セグメント

通期 見通し : 増収増益

(単位:億円)



インフレータ:

東日本大震災後の自動車生産急回復

2010年度 4218万個

2011年度 4800万個(予想)

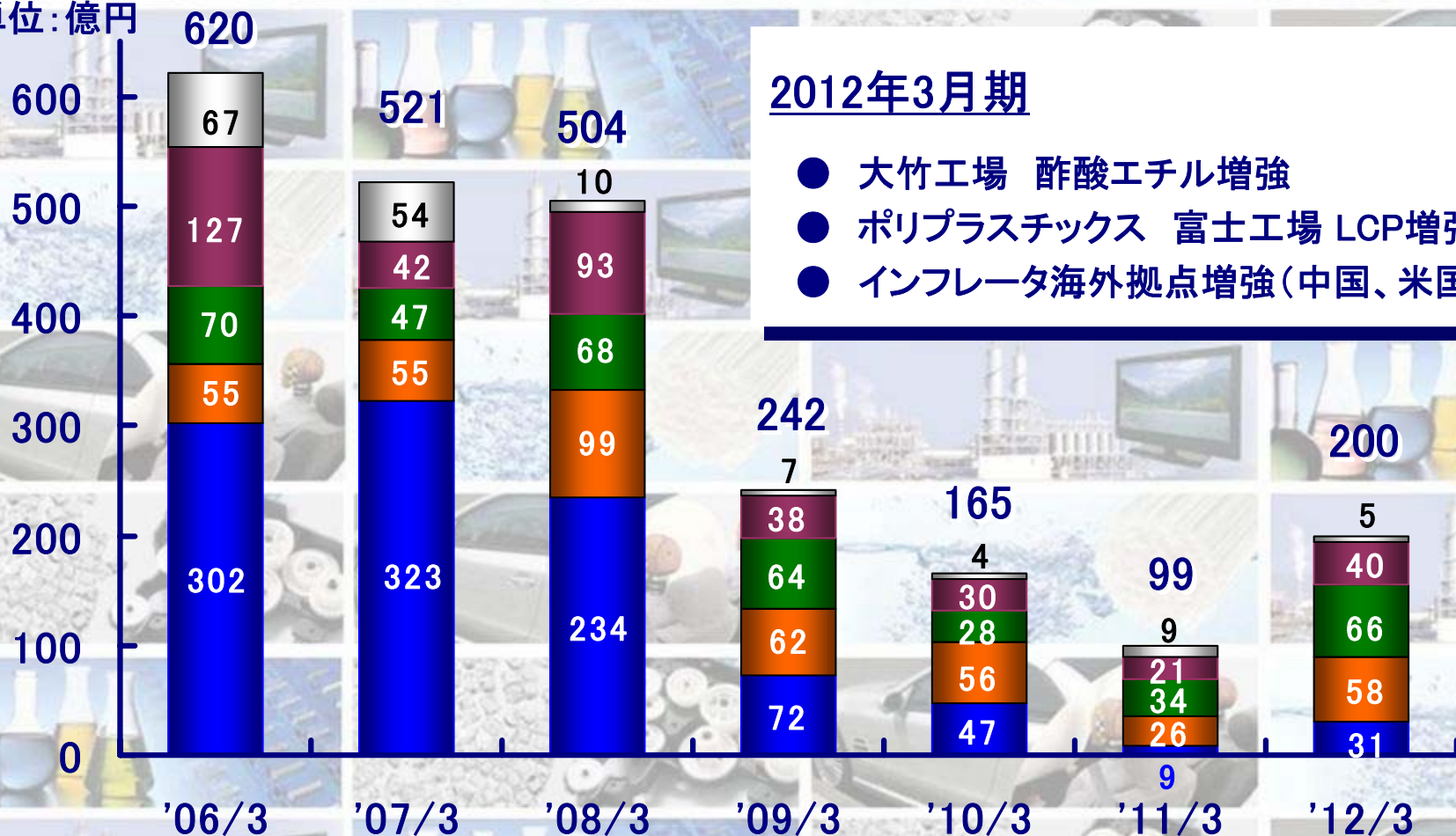
(懸念材料:タイの洪水による
自動車減産の拡大)

設備投資額推移

単位：億円

2012年3月期

- 大竹工場 酢酸エチル増強
- ポリプラスチック 富士工場 LCP増強
- インフレータ海外拠点増強(中国、米国)



■ セルロース ■ 有機合成 ■ 合成樹脂 ■ 火工品 ■ その他

アセテート・トウ 増強

2013年7月稼動開始予定

大竹工場



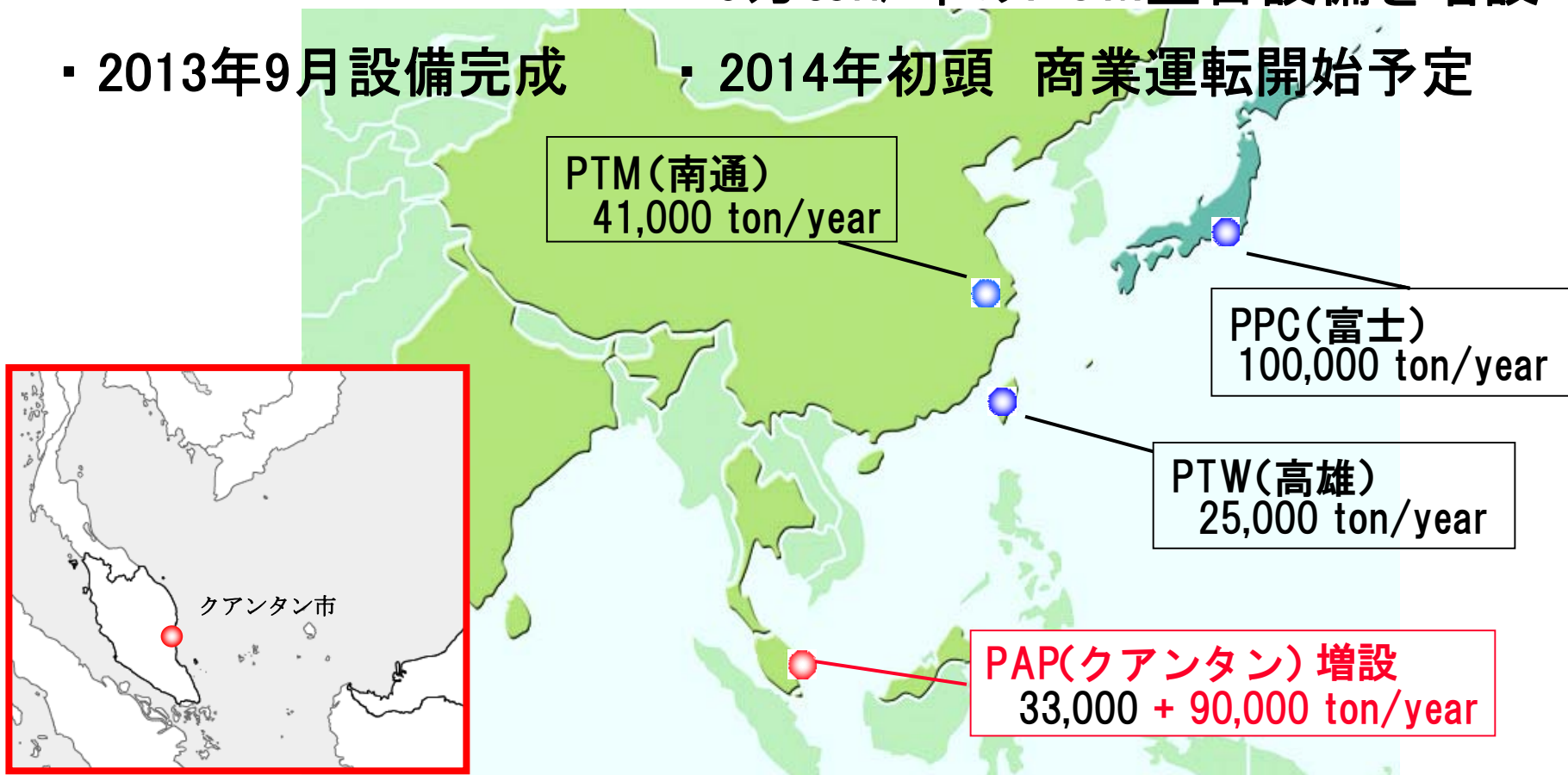
網干工場

アセテート・トウ製造能力は 現行に比べ約1割増

Polyplastics ポリアセタール(POM)の重合能力増強

マレーシアのPolyplastics Asia Pacific Sdn. Bhd. に
9万ton/年のPOM重合設備を増設

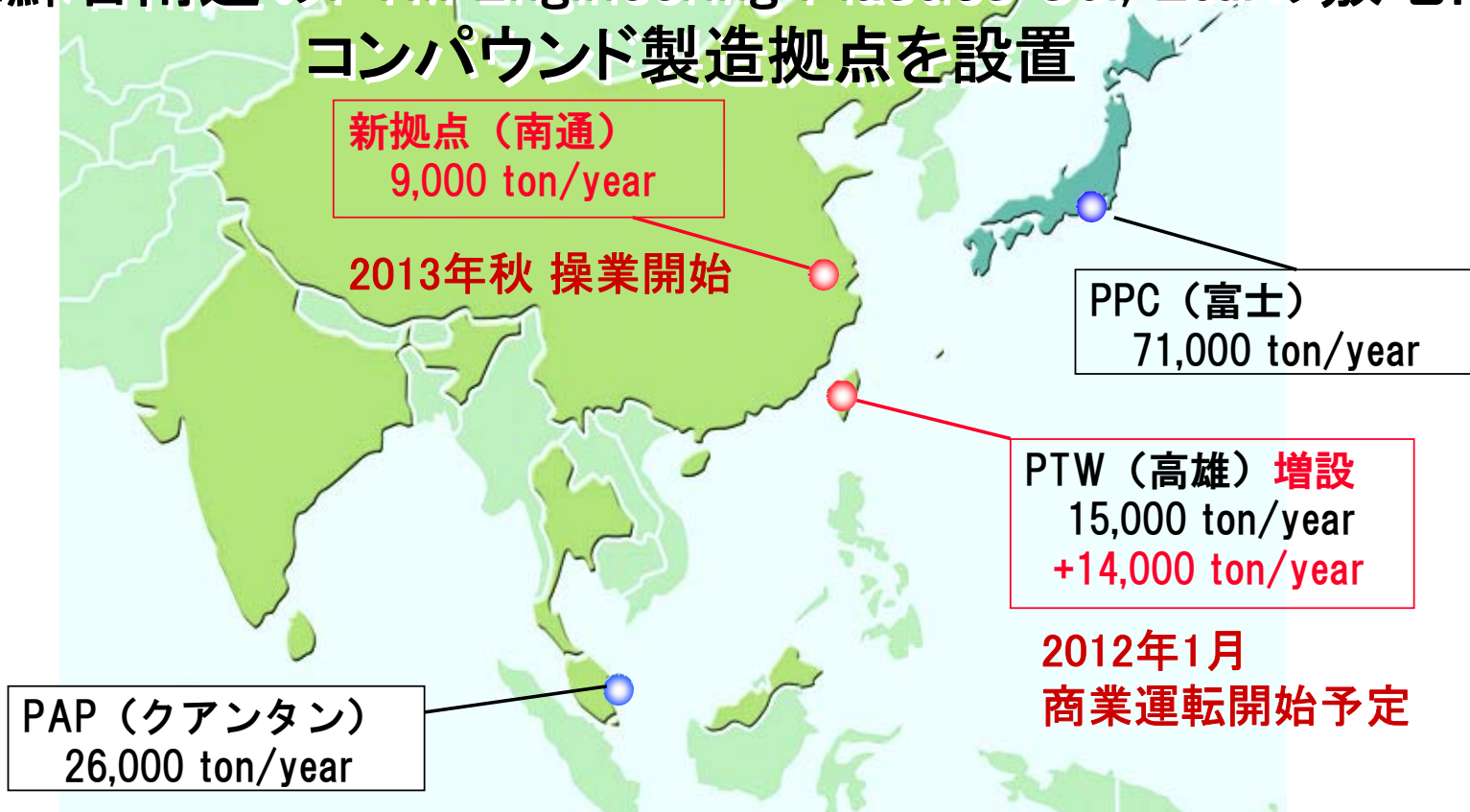
- ・ 2013年9月設備完成
- ・ 2014年初頭 商業運転開始予定



Polyplastics

コンパウンド能力 増強

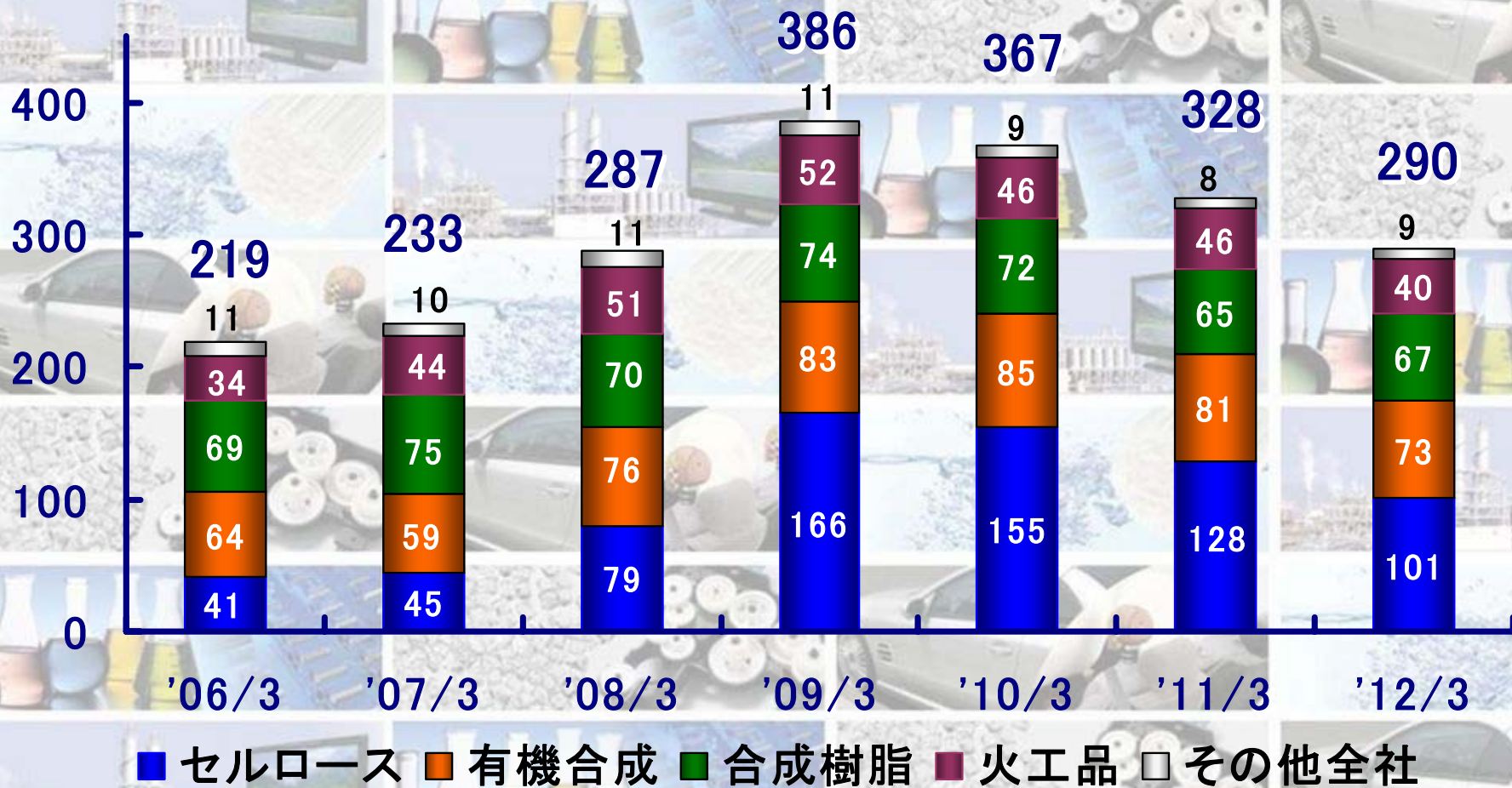
中国江蘇省南通のPTM Engineering Plastics Co., Ltd.の敷地内に
コンパウンド製造拠点を設置



台湾・高雄のPolyplastics Taiwan Co., Ltd. の能力増強

減価償却費推移

単位: 億円



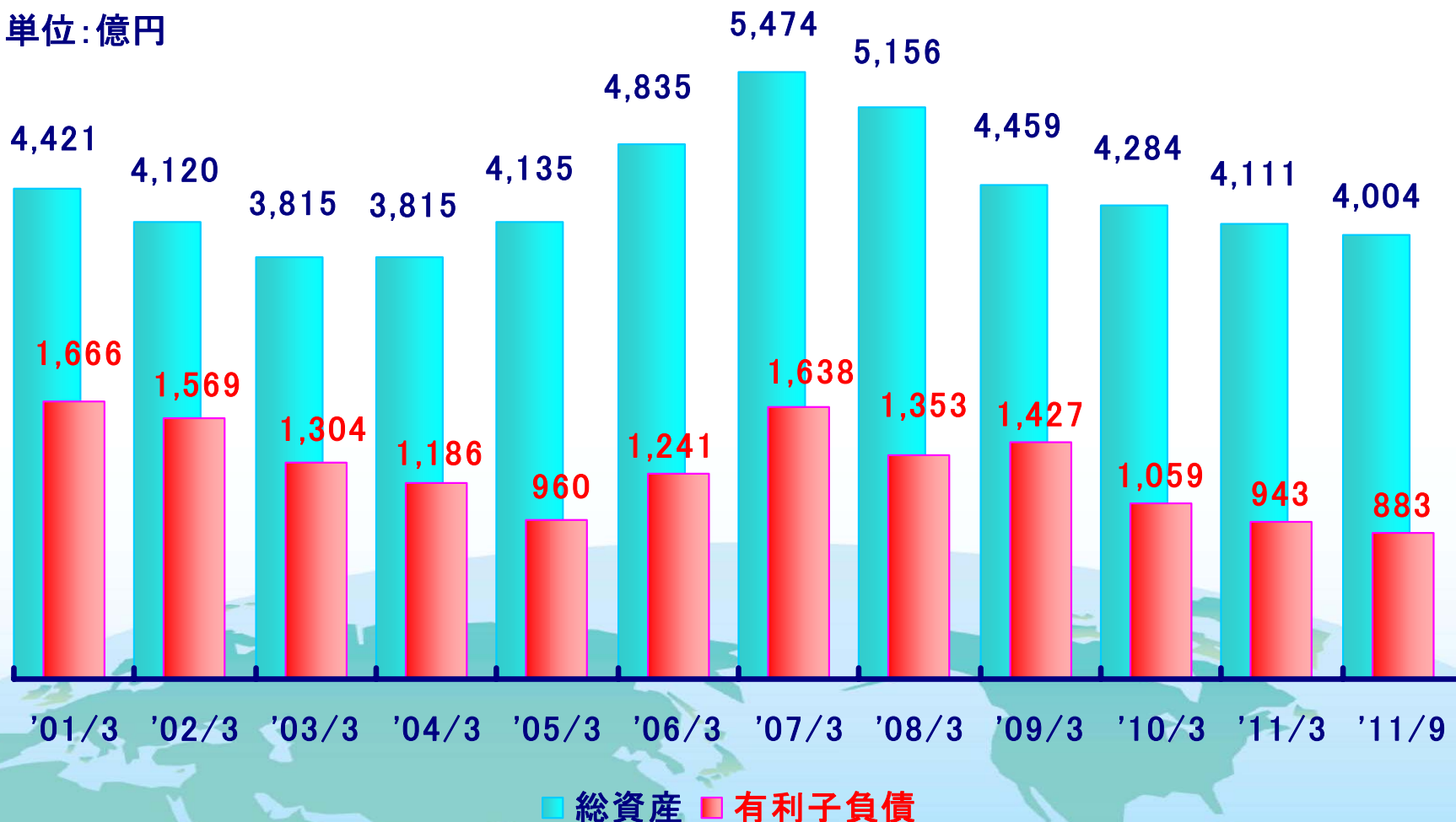
連結貸借対照表

単位: 億円

	2011年3月末	2011年9月末	増減	備 考
流動資産	1,979	1,994	+15	
現預金及び有価証券	441	446	+5	
受取手形及び売掛金	706	675	△32	
棚卸資産	705	753	+48	
その他	127	121	△6	
固定資産	2,132	2,011	△121	
有形固定資産	1,507	1,417	△90	取得71、償却△137
無形固定資産	28	24	△4	
投資その他資産	597	569	△28	投資有価証券: △42
資産合計	4,111	4,004	△106	
負債	1,757	1,662	△95	
有利子負債	943	883	△59	有利子負債比率22.06%.
その他	815	779	△36	
純資産	2,353	2,342	△11	自己資本比率52.6%
負債純資産 合計	4,111	4,004	△106	

総資産・有利子負債推移

単位: 億円



予測に関する注意事項

本資料は情報の提供を目的としており、本資料により何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものではありませんが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご使用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は株式会社ダイセルに帰属します。
いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。